

## 臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	重症喘息患者における気道内粘液栓と気流閉塞,気道炎症との関連
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	田村 可菜美
研究期間	2020 年 1 月 ～ 2020 年 12 月
対象者	2018 年 8 月から 2019 年 8 月の間に静岡県立総合病院呼吸器内科に通院、もしくは入院し胸部単純 CT を施行した成人気管支喘息患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	気管支喘息は粘液栓と呼ばれる粘性の高い痰が産生され、気管支が詰まると病気の悪化につながります。一方、喘息などのアレルギー性疾患では、好酸球数が増加しますが粘液栓との関連は明らかにされていません。本研究は、粘液栓の産生における好酸球の役割を明らかにすることを目的としています。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・背景因子（年齢、性別、喫煙歴など）、</li><li>・臨床データ（採血結果（好酸球分画や総 IgE 値）、喀痰細胞分画結果、呼吸機能検査結果、呼気一酸化窒素値、CT 画像など）</li><li>・治療内容</li></ul>
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考える範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。  静岡県立総合病院 呼吸器内科 田村可菜美 代表 054-247-6111